

「confa」は、Consumer(消費者＝道民)とFarmer(農業者)のConsensus(合意)から名付けたもので、「消費者と農業者がもっとふれあえるように」「都市と農村をつなぐ架け橋になりたい」という意味を込めています。

## CONTENTS

### 特集

#### 北海道農業の歴史と現在 人と大地のストーリー

01 北海道農業150年  
町村農場(江別市)

05 北海道米物語  
澤田米穀店(北斗市)

07 世界市場を席巻した  
北海道の豆・ハッカ  
中札内村ビーンズ資料館  
(中札内村)  
北見ハッカ記念館・薄荷蒸溜館  
(北見市)

08 世界を目指す道産チーズ  
ニセコチーズ工房(ニセコ町)

09 コンファ農業教室

11 ふれあいファームに出かけよう

13 農家の嫁レシピ  
夢想農園(士幌町)

14 北海道からのお知らせ

ハガキ 野菜がもっと好きになる  
ベジスイーツ

巻末 道の駅ドライブMAP  
道北エリア編

電子ブック公開中!  
Hokkaido e-books

こちらのQRコードを  
読み取ってください。

<http://www.hokkaido-ebooks.jp>  
※スマートフォン、タブレットの方は専用アプリ  
(無料)をダウンロードの上、ご利用ください。

### 特集

#### 北海道農業の歴史と現在 人と大地のストーリー

# 北海道農業 150年

先人たちから受け継ぎ  
未来へと実りを託す北海道農業。  
大地に紡がれる、  
そのストーリーを  
追いかけてきました。

札幌から電車で30分、大都市から程近い  
江別。果てしない牧草地の中に、北海道酪  
農の先駆者である町村敬貴が拓いた農場  
があります。

石狩市樽川の地から始まり、100年以  
上続く町村農場。広大な170ヘクタール  
の地には、およそ380頭の牛が飼育され  
ています。2012年には「町村農場ミル  
クガーデン」が直売所としてリニューアル  
オープンし、毎日搾りたての牛乳から生ま  
れたバターやヨーグルト、スイーツを求め  
て多くの人で賑わっています。

その背景には創業時から掲げてきた「土  
づくり、草づくり、牛づくり」に対する熱い  
想いからきています。美味しい牛乳を作り  
続けられたルーツを、代表の町村均さんに  
迫りました。



町村農場  
江別市



町村農場  
代表 町村 均 さん

わずか150年で農業大国に!  
その軌跡を振り返ろう。

## Hokkaido Agriculture History 150年 北海道 農業史

明治2年

明治新政府が開拓使を  
東京に設置し、  
北海道と命名。

明治4年

札幌が開拓使長官が  
置かれ、北海道農業  
発展のため、  
アメリカ農務局長  
ケブロンらを招へい。

明治6年

七重試験場でバター!  
粉乳の製造が始まる。  
中山久蔵が水稲の  
試作に成功。  
農畜産の技術指導のため、  
米国よりエンドウ・タンを  
招へい。

明治7年

「屯田兵例則」が制定。  
北海道で初めて乳牛が  
輸入される。

明治9年

札幌農学校が設立され、  
初代学長として  
米国よりクラーク博士を  
招へい。

明治16年

十勝国帯広に  
依田勉三らの  
晩成社移民13戸が  
入植。

明治18年

山形県からハッカの  
種根を移入し、  
上川郡で試作が  
始まる。

明治29年

北海道初の  
土功組合である  
角田村水利土功組合が  
設立。

大正7年

岩内町に下田アスバラガス  
製造所が設立され、  
農産物缶詰の  
生産が始まる。

大正8年

羊毛の国内自給を目指し、  
滝川や月寒(札幌)に  
種羊場が開設。

昭和8年

北海道産米300万石の  
新記録を作る。

昭和31年

世界銀行の融資のもと  
根釧パイロットファーム  
(酪農)への入植開始。

昭和58年

低温と日照不足  
などにより、農作物に  
総額1531億円の  
被害が及ぶ。

昭和63年

北海道産米の期待の星  
「あさひ397」が誕生。

平成5年

記録的な冷夏により、  
戦後最大の冷害  
農作物に総額  
1974億円の  
被害が及ぶ。  
北海道から首都圏へ  
生乳を運ぶ  
「ほくれん丸」が就航。  
他府県に負けない、  
米の新品種  
「ゆめぴりか」が  
本格デビュー。

平成21年